

記者資料提供

県庁教育記者クラブ

資料提供日：平成 25 年(2013 年)2 月 4 日(月)
機 関：公益財団法人滋賀県文化財保護協会
担 当 者：企画調査課 副主幹 中村健二
主 任 中村智孝
T E L : 077-548-9780

E - mail : chosa@shiga-bunkazai.jp

件名

平成 24 年度 高島市上御殿遺跡出土の石鉈(いしくしろ)について

公益財団法人滋賀県文化財保護協会では、滋賀県教育委員会と滋賀県土木交通部からの依頼により鴨川広域基幹河川改修事業(青井川)に伴う天神畠・上御殿遺跡の発掘調査を平成 20 年度から実施しています。これまで、古墳時代前期の竪穴住居、古墳時代前・中期の木棺墓、奈良時代後半から平安時代初めにかけての倉庫群などの興味深い資料が出土しており、これらの内容については、資料の提供、公開を行ってきました。

今年度は 5,000 m²を対象とし、4 月から調査を実施しており、奈良時代後半から平安時代初めの居宅や人形代や斎串などを用いた水辺の祭祀跡について、11 月に資料の提供と現地の公開を実施しました。

今回、新たに古墳時代の川跡から腕輪形石製品の「石鉈」が出土し、畿内政権に関係した祭祀を行った可能性を示唆する遺物と考えられます。その内容について、資料を提供しますとともに、下記日程で公開を行いますのでお知らせします。

記

- (1) 遺 跡 名：上御殿(かみごてん)遺跡
- (2) 所 在 地：高島市安曇川町三尾里
- (3) 調査期間：平成 24 年(2012 年)4 月～平成 25 年(2013 年)3 月 (予定)
- (4) 調査面積：約 5,000 m²
- (5) 調査主体：滋賀県教育委員会
- (6) 調査機関：公益財団法人滋賀県文化財保護協会
 - ① 発掘調査担当：企画調査課 副主幹 中村 健二
主 任 中村智孝
 - ② 連絡先：大津市瀬田南大萱町 1732-2
TEL : 077-548-9780
FAX : 077-543-1525
- (7) 資料の公開
 - ① 「体験タイムトラベル・古代へGO！ 古代のアクセサリーでGO！」
 - ・開催日時：平成 25 年(2013 年)2 月 9 日(土)～11 日(月・祝)
各日 10:00～16:30 開催
 - ・開催場所：イオンモール草津 2 階 イオンホール (予約不要/入場料無料/参加費無料
(一部有料))

- ・交通機関：JR 琵琶湖線 瀬田駅下車 近江鉄道バス イオンモール草津行き
- JR 琵琶湖線 南草津駅下車 西口より近江鉄道バス イオンモール草津行き など

②「あの遺跡は今！ Part.16」

- ・開催日時：平成 25 年(2013 年)2 月 17 日(日) 9:00～17:00
- ・開催場所：滋賀県安土城考古博物館（入場無料）
- ・交通機関：JR 琵琶湖線「安土駅」より徒歩 25 分
JR 琵琶湖線「安土駅」よりレンタサイクル 9 分

③高島市歴史民俗資料館

- ・展示日時：平成 25 年(2013 年)2 月 21 日(木)～3 月 3 日(日)
開館時間 9:00～16:30(休館日：月曜日、火曜日、祝祭日)
入場無料
- ・交通機関：JR 湖西線「安曇川駅」下車 徒歩 15 分

1. 調査の経緯と状況

鴨川の改修に伴う天神畠・上御殿遺跡の発掘調査については、平成 19 年に実施した試掘調査の結果に基づき、平成 20 年度 2,700 m²、平成 21 年度 3,800 m²、平成 22 年度 2,250 m²、平成 23 年度 2,450 m²の発掘調査をこれまでに実施してきました。今年度についても 5,000 m²を対象に、4 月 6 日から実施しています。発掘調査は対象地の南側から行っており、今年度に実施している場所は対象地の中央付近になります。

2. これまでの資料提供等

- ①「こけら経の出土について」 平成 22 年 2 月 17 日
一般公開 平成 22 年 2 月 21 日 安土城考古博物館 「あの遺跡は今！Part10」
- ②「大壁造り建物について」 平成 23 年 5 月 9 日
一般公開 平成 23 年 5 月 15 日 現地説明会
- ③「中世の馬具（轡）が出土」 平成 23 年 7 月 15 日
一般公開 平成 23 年 7 月 24 日 安土城考古博物館 「あの遺跡は今！Part13」
- ④「古墳時代前・中期の土坑墓について」
一般公開 平成 23 年 10 月 23 日 現地説明会
- ⑤「奈良時代後半から平安時代初めの居宅や人形代や斎串などを用いた水辺の祭祀跡」
平成 24 年 11 月 16 日
一般公開 平成 24 年 11 月 23 日 現地説明会

3. 調査の成果

(1) 古墳時代の川跡

今年度対象地のうち、16区とした調査区から古墳時代～平安時代にかけての川跡を検出しました。この川跡は、北西から南東へ向けて蛇行しつつ流れています。古墳時代は幅15m・深さ2.2mの規模があり、奈良・平安時代には幅4m・深さ2.2mの規模となっています。

奈良・平安時代の川跡からは、人形代や斎串などの祭祀遺物が出土し、水辺の祭祀が行われていました(平成24年11月16日資料提供)。古墳時代の川跡からは、古墳時代前期(4世紀)と後期(6世紀～7世紀初頭)の遺物が出土しています。

(2) 石鉋について

古墳時代の出土遺物には、土器や木器、石製品などがあります。このうち、石製品には腕輪形石製品(うでわがたせきせいひん)のひとつである石鉋が含まれていました。

腕輪形石製品は古墳時代前期に登場するもので、石鉋のほか、鍬形石、車輪石があります。いずれも貝製の腕輪を祖形として作られたもので、緑色凝灰岩の産出する北陸一帯が主要な生産地として知られています。前方後円墳といった首長墓をはじめとする古墳の副葬品として主に使用されているほか、福岡県沖ノ島遺跡など祭祀の場でも使用されており、宝器的・儀器的性格の強いものです。東北南部から北部九州にかけて分布しており、特に畿内中枢や伊勢湾沿岸部では高い密度で分布しています。畿内政権とのかかわりの深い遺物といえます。

石鉋は、腕輪形石製品のなかではもっとも出土事例が多く、広域に分布しており、他のものに比べ広く普及していたものです。前方後円墳以外の円墳や方墳といった古墳や、集落からの出土事例が、他のものに比べ多く見られます。

石鉋の県内の出土事例は、古墳では5基11例、集落では7遺跡14例が知られています。安土瓢箪山古墳(近江八幡市)以外の事例は、いずれも草津市・栗東市・守山市・野洲市といった湖南地域の琵琶湖側に集中しています。集落の事例は、拠点集落や玉作りを行っている集落の堅穴住居や川跡など遺構から出土しています。

(3) 上御殿遺跡から出土した石鉋

石鉋は、直径8cm(外側:内側は直径6.6cm)・高さ2.4cmを測り、破片の大きさは全体の約1/4程度です。石材は緑色凝灰岩とみられ、淡い緑色をしています。外面の装飾は3段にわかっています。上段と下段の斜面には、刻みが施され、上段には一部に間隔の広い部分を設けています。上面および下面からみると、刻みが放射状に見えます。中段は側面から見ると横方向に1条の刻みが施されています。このような形態をした石鉋は、古墳時代前期でも後葉(4世紀後半)ごろのものとされています。集落の出土例としては、県内では8遺跡目、15例目となります。湖西地域では他の腕輪形石製品を含めても初めて確認されたものです。

4. まとめ

これまでに行った発掘調査では、石鉋が出土した川跡の南側で古墳時代前期の堅穴住居8棟を検出しています。多くは一辺5～6m程度の規模のものですが、最大規模のものは8.0m×8.0mの規模があります。堅穴住居としては大きな規模のもので、有力者の住居と考えられます。この住居からは、土器のほか糸を紡ぐ際に使用する紡錘車や鉄鎌が出土しています。

上御殿遺跡の立地する場所は、畿内地域と北陸地域をつなぐ交通の要衝で、主要街道の北陸道が通り、港である勝野津が近くに設けられて、若狭口への結節点といわれています。川跡などから出土する古墳時代前期の土器には、畿内や北陸など他地域から搬入された土器が認められます。これらの存在から、この集落が他地域との交通路に位置していたとみられます。

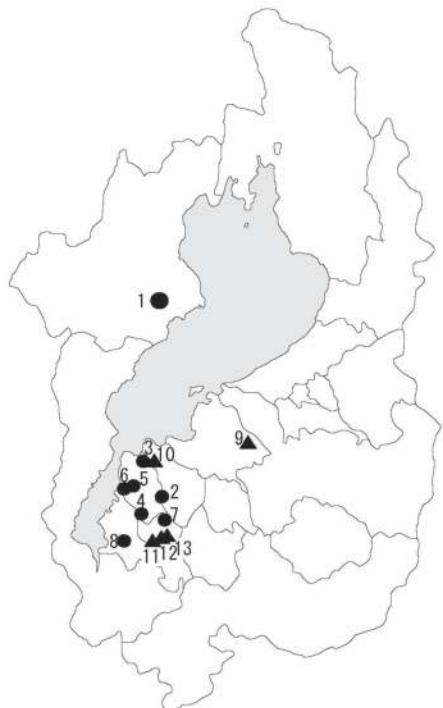
石釧が出土したことから、上御殿遺跡の集落が畿内地域や北陸地域と関わりを持った集落と考えられ、集落内の有力者が入手した可能性が考えられます。石釧をはじめとする腕輪形石製品は、琵琶湖の東側にある地域に出土例が偏在していましたが、湖西地域にある集落にも流通していましたことがわかりました。

集落から出土する石釧などの腕輪形石製品は、多くが破片となって出土します。貴重なものであるため、破片となっても大切に扱われていた可能性が考えられます。また、貴重品として保有された以外では、①玉作りの原石として使用された、②祭祀に用いられた、などの使用が想定されています。上御殿遺跡では玉作りを行っている痕跡は認められないため、①の可能性は低く、②の可能性が考えられます。川跡から出土していることからすると、水に関わる祭祀などが想定され、石釧を用いていることから、畿内政権の影響を受けた祭祀であった可能性が考えられます。

今回の調査から、湖西地域の有力者が石釧を入手していることがわかりました。また、それを用いた祭祀が行われていた可能性も考えられます。当時の地域社会を知る貴重な成果といえます。



上御殿遺跡 遺構全体図



	遺跡名	所在地	点数
集落	1 上御殿遺跡	高島市	1
	2 十八田遺跡	野洲市	1
	3 服部遺跡	守山市	1
	4 下長遺跡	守山市	3
	5 弘前遺跡	守山市	1
	6 赤野井湾遺跡	守山市	1
	7 辻遺跡	栗東市	6
	8 谷遺跡	草津市	1
古墳	9 安土瓢箪山古墳	近江八幡市	4
	10 服部遺跡19号墳	守山市	1
	11 下味古墳	栗東市	4
	12 山の上古墳	栗東市	1
	13 毛刈古墳	栗東市	1

図1 県内の石鋤出土遺跡



(『滋賀県立安土城考古博物館 常設展示図録』より転載)

写真 腕輪形石製品（安土瓢箪山古墳 出土遺物）



古墳時代の河道



石鋤出土状況



石釧



石釧復元イメージ